

2012/6/5

ネットワーク農縁依頼放射能測定結果に関するコメント

有害化学物質削減ネットワーク・井上啓

報告書番号	検体番号	Cs134	Cs137	Cs合計
120134	120524-1shinjoushi-dojou1takahashi	nd	25	25
120135	120524-2shinjoushi-dojou2yoshino	nd	26	26
120136	120524-3shinjoushi-dojou3hoshikawa	nd	22	22
120137	120524-4shinjoushi-yousui	nd	nd	0
120138	120524-5shinjoushi-dojou4endou	6	21	27
120139	120524-6shinjoushi-dojou5hoshikawayoshi	nd	17	17
120145	120524-7shinjoushi-dojou6mihara	5	21	26
120146	120524-8shinjoushi-dojou7imada	2	24	26
120147	120524-9shinjoushi-dojou8satou	8	28	36
120148	120524-10shinjoushi-dojou9sasa	5	35	40
120149	120524-11shinjoushi-dojyou10abe	52	98	150
120144	120601-1shinjoushi-tsuchi	8	21	29

※報告書6のコメントに記しましたように、セシウム134(Cs134)がndでCs137が検出されている理由は、古い汚染と記しましたが、おそらく過去の核実験によるフォールアウト、およびチェルノブイリ事故時のセシウムが残留しているものと考えられます。今回Cs134が検出された土壌の場合、福島原発事故の放射能による汚染も加わっていると観ることができますが、Cs137の量が134に比べて高いピークを示していることから、この地域の土壌には古い汚染がかなり残っていると考えられます。

※報告書番号120149と120144は同じ農地の土壌です。120144は番号が若くなっていますが、最後に追加で測らせていただいた阿部さんの土壌です。120144の数値は、他の方の農地とほぼ同じような濃度となっていますので特別に高いものではありません。120149のセシウム濃度が高くなった理由は、採取された土壌を乾燥させ、かなり目の細かいふるいをかけて得られたシルト状の土だったため、濃縮されたと考えられます。通常そのようなサンプルの作り方をすれば濃度が強くなるということです。

以上、中地とも検討した結果の、私なりのコメントです。

井上啓